

R7 小泊小学校 保護者アンケート（学校評価）集計

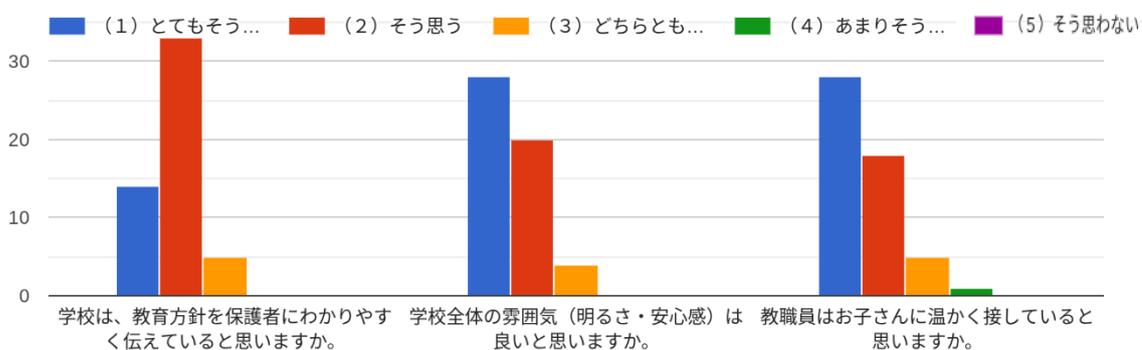
・ 5段階評価

(1) とても思う (2) そう思う (3) どちらともいえない (4) あまりそう思わない
 (5) そう思わない ※(4) (5) 評価の場合は、その理由や要望等を入力してください。

・ 自由記述欄 【ご意見・ご感想をお書きください。】

【No.1 学校全体について】

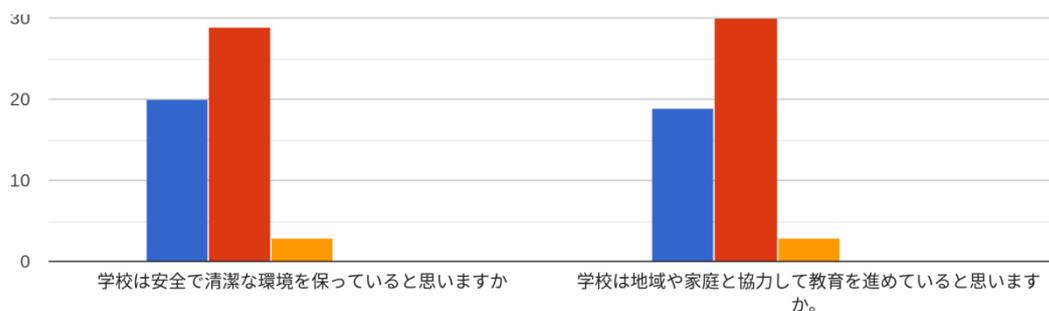
- 1 学校は、教育方針を保護者にわかりやすく伝えていると思いますか。
- 2 学校全体の雰囲気（明るさ・安心感）は良いと思いますか。
- 3 教職員はお子さんに温かく接していると思いますか。



・ 担任の先生、口調が悪い。

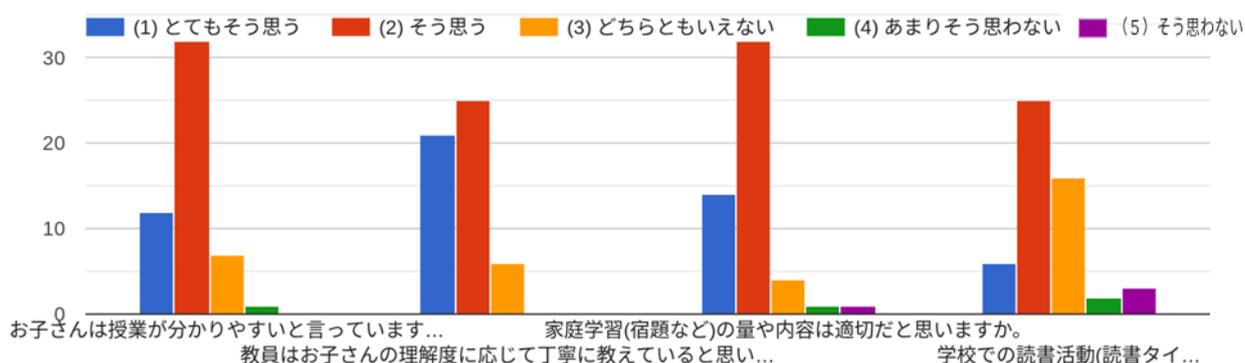
担任の指導における言葉遣いや伝え方につきまして、ご心配や不快な思いをおかけしました。子どもたちの気持ちに寄り添い、安心感のある言葉がけを大切にされた指導を基本としていますが、今回のご意見を受け、十分に行き届いていなかったことを、学校として重く受け止めています。子どもの受け止め方に配慮した言葉がけの徹底、感情的にならない指導の在り方の確認、教職員全体での共通理解と意識の向上に努め、より丁寧で温かい対応を心がけていきます。

- 4 学校は安全で清潔な環境を保っていると思いますか。
- 5 学校は地域や家庭と協力して教育を進めていると思いますか。



【No.2 授業・学習指導について】

- 6 お子さんは授業が分かりやすいと言っていますか。
- 7 教員はお子さんの理解度に応じて丁寧に教えていると思いますか。
- 8 家庭学習（宿題など）の量や内容は適切だと思いますか。
- 9 学校での読書活動（読書タイム・読み聞かせ・全校読書等）が、家庭での読書にもつながっていると思いますか。



【授業の分かりやすさについて】

子どもの理解の様子をより丁寧に把握しながら、説明の仕方や授業の進め方、板書や教材の工夫などについて教職員間で共有し、「分かった」「できた」と実感をもてる授業づくりを大切にして改善に努めていきます。

【宿題の量と内容について】

ご家庭での負担やお子さんの様子に十分配慮できていなかった点があったと受け止めています。学年や学習状況、子ども一人一人の実態を踏まえ、量・内容ともにより適切なものとなるよう配慮していきます。

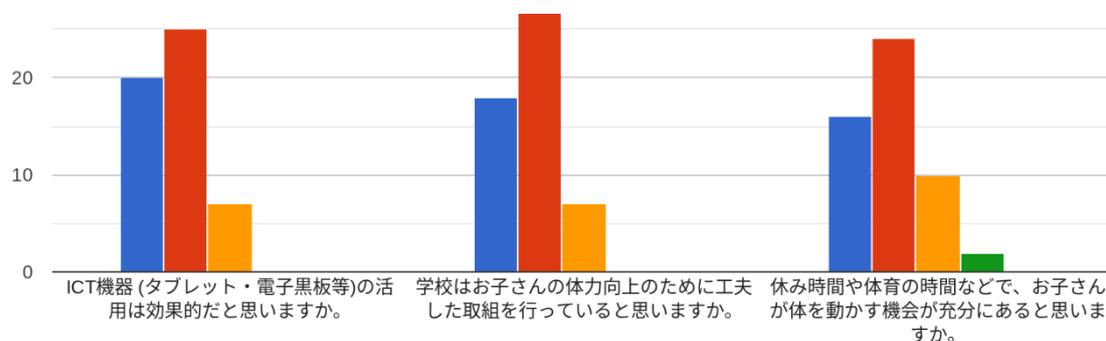
→ ・2学期より「家族で楽しもう DAY」を設定しました。

- ・家庭学習の時間（1・2年生 20分、3・4年生 40分、5・6年生 60分）に合わせて宿題を出していくことを再度確認しました。

【読書習慣について】

読書習慣は、学校だけで完結するのではなく、ご家庭での関わりと連動して育まれていきます。学校では、読書タイムや読み聞かせの実施、子ども一人一人の興味に合った本との出会いを大切にされた指導を行っておりますが、現状として、家庭での読書習慣につながっていないようです。学年や発達段階に応じたおすすめの本の紹介、「読む量」だけでなく「読む楽しさ」を共有できる取組などを工夫し学校と家庭が連携しながら子どもたちが自然と本に親しめる環境づくりに努めていきます。ご家庭でも、短時間でも一緒に本の話をする、同じ本を読むなど、できる範囲での関わりを通して、読書の楽しさを共有してほしいです。

- 10 ICT 機器（タブレット・電子黒板等）の活用は効果的だと思いますか。
- 11 学校はお子さんの体力向上のために工夫した取組を行っていると思いますか。
- 12 休み時間や体育の時間などで、お子さんが体を動かす機会が充分にあると思いますか。



- ・直しを昼休みにやっている。
- ・きれいな食べ物を昼休み終わるまで食べさせようとしているので昼休みがないで終わることがある。

【運動について】

今年度ようやく鉄棒とブランコの設置が完了しました。予算などの制約がありますので、既存の遊具や運動施設をより有効に活用する工夫、体育的遊びや集団遊びの充実などを通して、遊びや運動の機会の充実に努めていきます。

【休み時間について】

昼休みは、子どもたちにとって友だちと関わりながら過ごす大切な時間です。一方で、学習内容の理解に個人差がある中で、授業時間内だけでは十分な支援が行き届かない場合があります。定着やつまずきへの対応として、やむを得ず昼休みの一部を活用して個別に直しや確認を行う場合もあります。これも子ども一人一人の理解を大切に、「分からないままにしない」ことを目的とした対応ではありますが、休み時間の過ごし方への影響については、十分に配慮すべき点であると受け止めています。

→2月より時程を変更し、個別指導を放課後に行うこととしました。

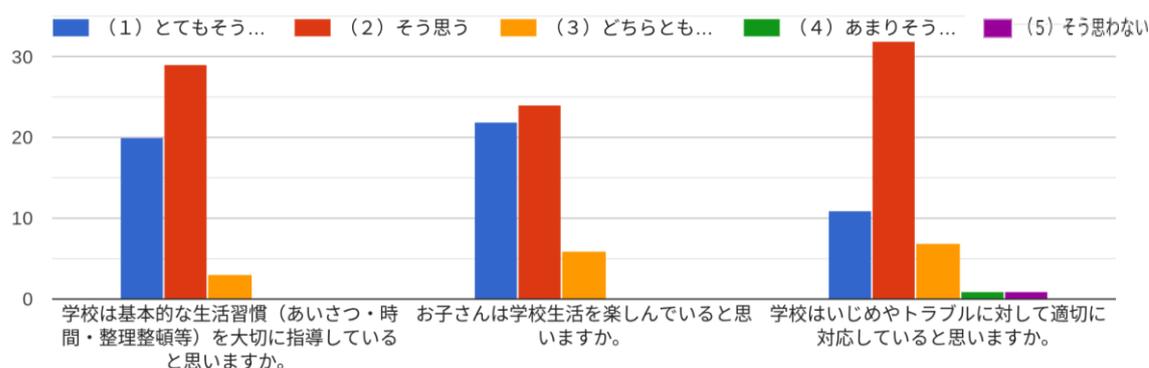
【給食指導について】

給食は食事にふさわしい環境を整え、日頃から子ども一人一人が安心して食べられるように体調や気持ちに配慮しながら進めるべきものです。昼休みまで食べるような食の指導については行き過ぎた対応だと学校として重く受け止めています。「無理にたべさせる」ことを目的とするのではなく、食に少しずつ慣れ、安心して向き合えることを大切にしたい指導について全教職員で確認しました。

確認しました。

【No.3 生活指導・学校生活について】

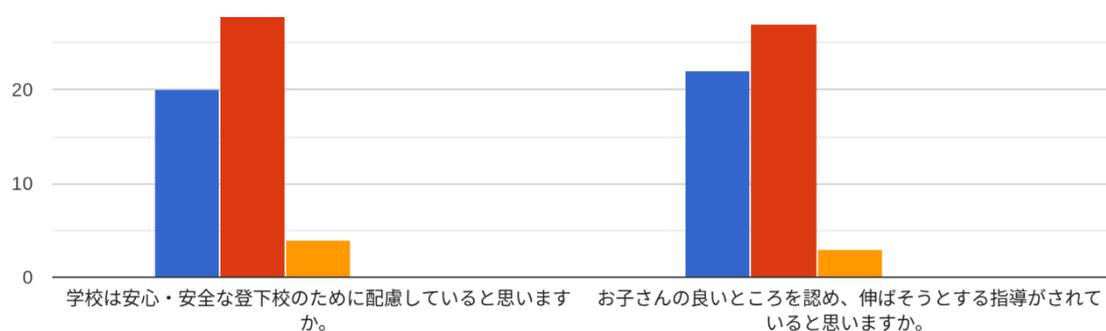
- 13 学校は基本的な生活習慣（あいさつ・時間・整理整頓等）を大切に指導していると思いますか。
- 14 お子さんは学校生活を楽しんでいると思いますか。
- 15 学校はいじめやトラブルに対して適切に対応していると思いますか。



【適切な対応について】

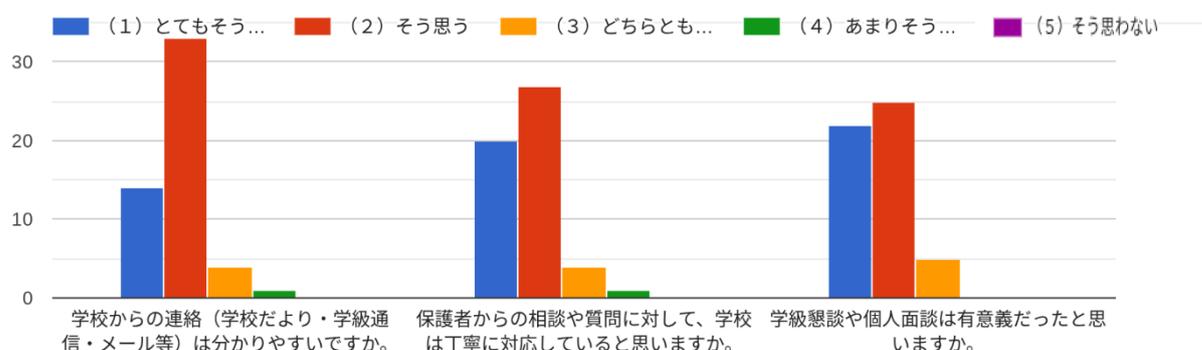
子どもたちにとって、安心して学校生活を送れることは何より大切であり、学校としても日頃から注意深く見守り、対応に努めていますが、対応や伝え方の面で十分でなかった点があったのではないかと受け止めています。子どもたちの小さな変化や声に丁寧に目を向け、学級担任だけでなく、複数の教職員で情報を共有しながら対応するとともに保護者の皆様と連携し、安心につながる支援を心がけていきます。

- 16 学校は安心・安全な登下校のために配慮していると思いますか。
- 17 お子さんの良いところを認め、伸ばそうとする指導がされていると思いますか。



【No.4 学校と家庭・保護者との連携について】

- 18 学校からの連絡（学校だより・学級通信・メール等）は分かりやすいですか。
 19 保護者からの相談や質問に対して、学校は丁寧に対応していると思いますか。
 20 学級懇談や個人面談は有意義だったと思いますか。



・ マチコミの内容がたまにわかりにくい時がある。

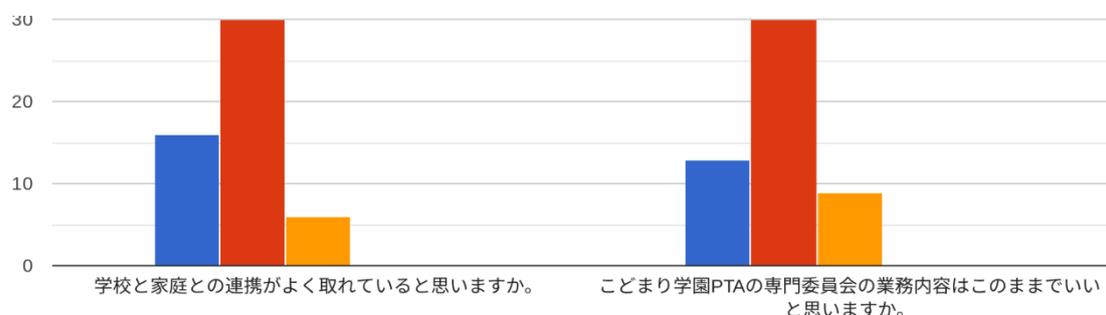
【マチコミの内容について】

学校からのメールにつきして、内容や表現が十分に伝わっていなかった点について、改善の必要があると受け止めています。今後は、内容を簡潔にまとめることや、要点を分かりやすい情報発信に努めていきます。

【丁寧な対応について】

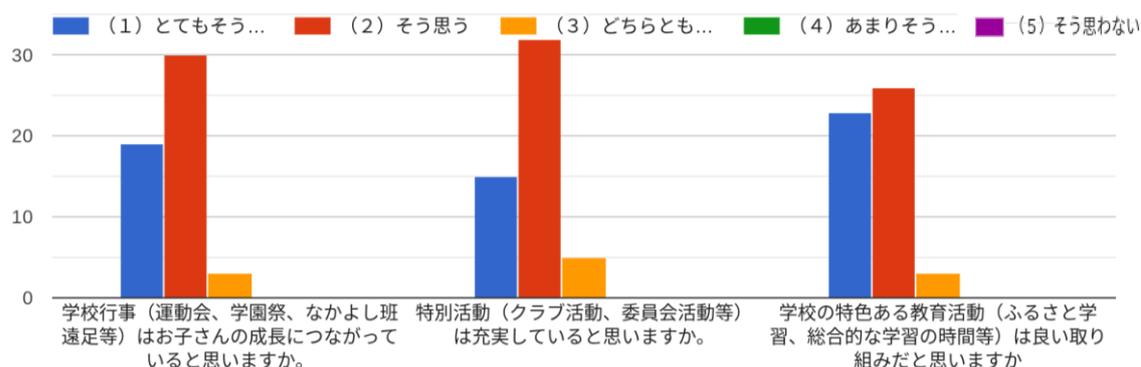
少数ではありましたが、対応が十分に丁寧でないと感じられたとのご意見について真摯に受け止めています。教職員間で対応の在り方を改めて共有し、今後もより丁寧にお話を伺い、分かりやすくお伝えすることを大切にしながら、保護者の皆様に安心してご相談いただける対応に努めていきます。

- 21 学校と家庭との連携がよく取れていると思いますか。
 22 こどもり学園 PTA の専門委員会の業務内容はこのままでいいと思いますか。



【No.5 学校行事・特色ある活動について】

- 23 学校行事（運動会、学園祭、なかよし班遠足等）はお子さんの成長につながっていると思いますか。
- 24 特別活動（クラブ活動、委員会活動等）は充実していると思いますか。
- 25 学校の特色ある教育活動（ふるさと学習、総合的な学習の時間等）は良い取り組みだと思いますか。



【No.6 今後について（自由記述）】

学校に対して良いと思う点を教えてください。

- ・みんな仲良くいれること
- ・たとえ小さい事でも隠さず伝え、親身に対応してくれるところ
- ・マチコミで様々なお知らせをしてもらえなこと
- ・家庭と学校との連携がとれている。今後ともよろしく致します。
- ・子供一人一人の個性や、悩み問題点を理解し対応してくれていることに感謝します。
- ・学校が好きで休むのを嫌がるので、楽しく過ごせているんだなと思います。
- ・子ども一人ひとりに目が行き届いている。
- ・学校全体が親しみやすい雰囲気だと思う。
- ・授業を行うだけでなく子どもの成長そのものを大切に接してくれる。
- ・気さくな先生が多く、親も気軽にいろいろなことを話せる。
- ・いつも安全に学校生活を送れるように子供たちを見守り、必要に応じた連絡等をありがとうございます。今後ともよろしく願います。

学校に対して改善してほしい点、今後期待することがあれば教えてください。

- ・お手紙が予算の関係があるから、白黒と聞いてましたが、子どもの写真等がある場合は、カラーにしてほしい。子どもの小学校の様子がわかりません。よろしく願います。

限られた予算の中で教育活動を継続していくための対応ではありますが、その一方で見づらさや分かりにくさを感じさせてしまっている点については、学校として課題であると受け止めています。文字の大きさや写真の配置、構成を工夫するなど、白黒で分かりやすいものなるように工夫していきます。

- ・運動会で中学生のよさこいのアンコールが必要ないような気がします。他の競技を増やした方が子ども達が色々な経験ができると思います。

運動会の種目については、児童の体力面や安全面、当日の運営や時間配分等を踏まえ現在の種目数としておりますが、今回いただいたご意見を参考に内容の工夫や構成の見直しについて今後小中で検討していきます。子どもたちが達成感をもち、楽しく参加できる運動会となるよう工夫していきます。

- ・子供達は意外と先生の機嫌が良い、機嫌が悪いなど敏感に感じ取っていると思います。先生たちも人間なのでそういう時もあるかとおもいますが、子供たちが、いやだ、行きたくない…などなく、楽しく学校へ足が向かうような毎日を期待します。

毎日楽しい気持ちで学校に足が向かうことは、何より大切なことであると学校としても考えています。教職員一人一人が自らの言動を振り返り、穏やかで温かな関わりを心がけていきます。子どもたちが安心して笑顔で過ごし、「学校は楽しい」「また明日も行きたい」と思える学校づくりに、学校全体で取り組んでいきます。

アンケートでは、あてはまる・あてはまらないという意見だけでなく「どちらでもない」というご回答も多くいただきました。学校としては「どちらでもない」という声も大切にしていきます。迷っているお気持ちや良い点と気になる点の両方を感じている思いがあらわれていると受け止めているからです。そうした声も含めて、今後の学校の取組を考えていきたいと考えています。